

創刊号

市民・事業者・行政が協働し、環境保全都市を実現する

ひらかた環境ネットワーク会議会報

ネットワーク会議ついに始動



パネルディスカッションの様子

3者協働で環境問題に取り組む

枚方を環境保全都市にするために、市民・事業者・行政の3者が協働する「ひらかた環境ネットワーク会議」が、2月15日に設立されました。同日、ラポールひらかたで開催した設立総会と記念シンポジウム（写真上）には、150人以上の市民・事業者が参加し、大盛況の船出となりました。

今回の巻頭特集は、設立総会と記念シンポジウムについてレポートします。

目次

設立総会開催	-----	2
運営委員会&各部会の活動	--	4
運営委員紹介	-----	6
お知らせ	-----	7
団体紹介	-----	8

3者が力合わせ 環境保全都市へ

設立総会 & 記念シンポジウム開催

設立
総会

会則案など拍手で承認

運営委員会では5部会の設置が承認

「ひらかた環境ネットワーク会議」の設立総会を2月15日午後0時30分から、ラポールひらかた4階大研修室で開催しました。

発起人のひとりである中司宏枚方市長の「市民・事業者の方と協力しながら環境施策を進めていきたい」との挨拶から始まり、来賓の挨拶、谷崎利男準備会会長による設立準備経過報告が行われました。

その後、議長に山本光夫さん、書記に稲森郁子さんを選出し、会員数123人中、出席109人（うち委任状24人）で、総会の成立が確認されました。



150名以上の参加者で大盛況の会場



山本議長の進行のもと、審議が行われました

議案の審議では、第一号議案・会則案、第二号議案・運営委員案が準備会から提案され、会員多数の拍手で承認されました。

その後一旦休憩となり、別室で第1回運営委員会が開催されました。そこで会長に谷崎利男さん、副会長に堀田修平さん、丸井晶子さんが全会一致で選出されました。また自然環境、ごみ・エネルギー、公共交通、まちづくり、環境教育サポートの5部会の設置も承認されました。

総会再開後、運営委員会で選出された会長、副会長が拍手で承認されました。引き続き第三号議案・平成15、16年度の事業計画案、第四号議案・平成15、16年度予算案も会員多数の拍手で承認され、設立総会は無事閉会しました。

ご挨拶

会長 谷崎 利男

「ひらかた環境ネットワーク会議」が約1年の準備を経て2月15日に正式に発足致しました。

本誌でご紹介していますように、この会議は、市民・事業者・行政の3者が協働して会議を進めてゆくのが特徴です。当面は5つの部会でスタートしますが、枚方市を環境先進都市にするための活動に参加を希望する市民や、すでに活動している団体、さらに新設の団体などの参加を期待しています。出来るだけ多くの皆さんと話し合い、知恵を出し合い、ワイワイ・ガヤガヤと活動を続けていく。その中からひとつでも多くの活動が枚方市に根付くよう共に考え、支援してゆきたいと思っております。皆さんの積極的参加とご支援をお願い致します。

参加者の声 具体的活動に期待寄せる参加者

- ◆それぞれの参加者から熱い想いを感じる。しかし具体的に何が出来るかが大事。これから皆さんと一緒に何が出来るか考えていきたい。
- ◆人と人の繋がりが希薄になっている。子どもたちが安心して暮らせる街にしていきたい。

市民の力が生きるまちづくりを

市民一人ひとりが“こういう環境保全都市を目指している”と言えることが大事

基調講演 ひらかた環境ネットワーク会議に期待する

植田和弘さん（京都大学教授）

地域やコミュニティは、これを担う良い人・良い町・良い組織があつて、環境保全都市が成り立つ。郊外までは車で来て、路面電車に乗り換え、市の中心部はまったく車をなくす、この方が商店街も活性化する。ごみの問題でも、再使用やリサイクルが、作る時から生活の中に入っている循環型社会や、交通対策も合わせた、政策の統合化が必要。体験の積み重ねが信頼となり、ネットワークで参加の場づくりをし、互いの議論を通じて、良い枚方を作ろうという信頼関係ができ、地域のパフォーマンスが変わる。地域・コミュニティが力を持つと、文化的快適さとは何かを見直し、新しい生活スタイルを作り出す。それが枚方の新しい伝統となる。ネットワークの創造性（町づくり）が必要で“こういう環境保全都市を目指している”ということを、市民が言えることが大事で、ひらかた環境ネットワーク会議に期待したいと思う。

（※ご報告：植田和弘氏には引き続き、当会議の「顧問」としてアドバイスをいただくことになりました。）



手振りを交えながら講演をされる植田教授

パネルディスカッション

市民 事業者 行政

3者が熱い想いを披露

パネルディスカッションで、ネットワーク会議に対する期待を熱く語る



植田教授の講演を受けて「ひらかた環境ネットワーク会議に期待すること」というテーマでパネルディスカッションを開催しました。150名以上の人が参加し、会場からも意見や質問が出るなど活気あふれたものとなりました。以下が各パネリストの発言要旨です。

◆コーディネーター

植田和弘（京都大学教授）

◆パネリスト

中司宏（枚方市長） 谷崎利男（会長） 丸井晶子（副会長）

三好國司（司電気産業㈱）

新開悦子（とよなか市民環境会議アジェンダ21）

3者の違いを理解し特徴を生かす 谷崎会長

行政がボランティアとして参加すれば、何の予算も権限も持たない一市民となってしまう、行政としての特徴が生かせなくなる。市民・事業者・行政それぞれに制約があることを、お互いに理解することがキーワード。

市民の決意あれば環境は良くなる 丸井副会長

信頼・規範・ネットワークは、長いスパンの中で作

っていくもの。企業はコストという目的意識があるが、市民の場合は何が何でも枚方の環境を良くするという決意さえあれば前進する。

事業者も環境への配慮が必要

三好さん

事業者の環境への関わりは、安全な商品を安く提供することだけでなく、商品の処分方法まで考えること。私の会社は、全壁面に太陽電池パネルを張り付け、CO₂の年間排出量を引き下げるなどの社会貢献につながる努力をしている。

時間をかけて信頼関係を築く

新開さん

パートナーシップを築くには時間がかかる。豊中市でもどのような活動をしていくのか、数か月間議論した。大事なものは信頼しあうことだが、それには時間とエネルギーが必要。学校給食の残飯や公園・街路樹のせん定枝をたい肥化する事業を市民が行うことで、市との信頼関係を築くことができた。

一人ひとりの意識の変化が大事

中司市長

枚方市を全国一の環境保全都市にしたいとの想いで、環境行政に取り組んできた。このネットワーク会議に多くの市民が参加し、一人ひとりの意識がどう変わっていくのかを大切にしていきたい。

プロセス自体に大きな意味がある

植田教授

今日のテーマにふさわしいシンポジウムが出来たと思う。目に見える成果だけでなく、ネットワークを作っていくプロセス自体に大きな意味がある。活動に主体的に関わる人が増えていくことも大きな成果だ。

5部会が活発に活動を開始

自然環境部会

枚方市の環境政策を知るために
まず学習からスタート！

第1回の自然環境部会を3月7日に開催しました。参加者の熱い思い一杯の意見交流となり、その中から次回に向けての課題が見えてきました。

いろいろ課題はありますが、まずはそれらを取り上げる前に、枚方市の環境政策を知ることが第一歩ではないかということで、学習からスタートすることになりました。

これをベースに今後に向け意欲的に取りこんでいけそうです。

★今後のミーティング予定

日時：4月10日(土)、午後1時～同4時

場所：メセナひらかた4階 特別会議室

・学習会開催

テーマ：「枚方市の環境政策を知ろう」

講師：市担当職員

・意見交流

・その他

ごみ・エネルギー部会

ごみを減らそう！
エネルギーを節約しよう！
再生可能エネルギーを活用しよう！

地球温暖化防止や循環型社会形成への「わがまちひらかた」での取り組みを、まず身近な個人・地域社会レベルから部会員で共有するため、行政・事業者・市民団体・グループ・個人のそれぞれの取り組みや思いを披露し、意見交換をしています。

環境ネットワーク会議設立後、3回部会ミーティ

ングを実施しました。毎回時間を忘れるほど盛り上がっています。「ああ、そういうことだったのか」、「そんな考え方もあるのか」「そんな生き方もあるのか」「そんなに楽しいこともあるんだ」「そんなに苦労しているんだ」「そんな問題もあるんだ」…など、今は新しい発見がいっぱいです。

身近なごみ、エネルギーを通して、世の中を一緒に見ていきませんか。老若男女、各界、各域から広く部会員を募集しています。

★今後のミーティング予定

日時：4月16日(金)、午後7時～同9時

場所：ラポールひらかた2階 集会室

公共交通部会

「河川敷を利用した自転車道とレンタサイクルシステム」等をテーマに活動

公共交通部会は環境への負荷の少ない交通体系の整備とその利用促進を推進するという目的で発足しました。

2月15日のネットワーク会議設立時に持たれたミーティングに続き、3月15日に第2回ミーティングを持ちました。現在、部会員は14名です。

今後は3週間に1回の予定で、ミーティングやフ

ィールドワークを行います。

(取り上げるテーマ)

- ・枚方の交通システム全般について
- ・コミュニティバスを含むバス路線システム
- ・自転車道網とレンタサイクルシステム
- ・その他部会員よりデータ提供される事例の研究

★今後のセミナー予定

日時：4月26日(月)、午後7時～同9時

場所：ラポールひらかた3階 研修室2

議題：枚方の交通システムについて(7頁参照)

各部会&運営委員会の活動

まちづくり部会

枚方のまちを知ろう！好きになろう！
楽しもう！そして、誇れるまちにして
外に向かって発信していこう！

いよいよ、まちづくり部会の活動が、始まりまし
た。まだ 20 名弱のメンバーですが、老若男女バラ
エティーに富んだ部会員の構成になっています。

活動内容は、部会での議論の中からテーマが決ま
りますが、部会のモットーは『枚方のまちを知ろう、
好きになろう、楽しもう。そして枚方を誇れるまち

にし、外に向かって発信していこう』だと思ってい
ます。そのための、勉強会や、環境ハイキング、タ
ウンウォッチングなどの調査活動を企画、開催して
いきたいと考えています。会議室での議論や勉強だ
けでなく、まちに出るフィールドワークを組み合わせ
て、活気のある楽しい部会活動としていきます。

ひらかた環境ネットワーク会議会員の皆さん、ぜ
ひ、まちづくり部会にご参加ください。

★今後のミーティング予定

日 時：4月22日（木）、午後7時～同9時

場 所：枚方市役所別館4階 第3委員会室

環境教育サポート部会

4つのワーキンググループに分かれて
活動がスタート！

この部会の主な特徴は2つあります。他の部会と
は異なり関連既存団体が背景にないので、まったく
ゼロからのスタートでした。次に、市民が環境につ
いて学ぶためのしくみの構築とマネジメントを市
民で提言することをめざしている点です。

このようなしくみを整えている自治体はまだ少
ないですが、昨年いわゆる環境教育推進法が施行さ

れたことも後押しして、今後各地で整備が進むでし
ょう。これについての市民発議がこの部会の目標で
す。現在 36 名が、

- ①環境教育のしくみ作りの基礎研究
- ②枚方の環境教育の情報の収集と活用の検討
- ③学校と連携した環境教育の活動
- ④環境教育の情報と部会活動についての広報

の4つのグループに分かれて活動を開始させたこ
ろです。

★今後のミーティング予定

各グループごとに活動中。詳しい日程はホームペ
ージを参照、または事務局までご連絡ください。

運営委員会

部会活動をサポート

3者の連絡調整の場として活動



ネットワーク会議は、普通考えられるような環境
団体ではなく、市民・事業者・行政という立場や責
任が異なる3者が対等な関係でパートナーシップ
のもと協働するシステムです。

運営委員会は、リタイア組や現役企業人、介護や
子育て真っ最中世代など、さまざまに状況が異なる
会員の部会活動を支えています。

現在、協働システムをうまく稼働させるため、3
者の十分な連絡調整の場として、ネットワーク会議
の方針や事務的手続きを決めているところです。

なかなか真っすぐ進めるものではありませんが、
枚方独自の枚方に相応しい環境ネットワーク会議
を一緒に作っていきましょう。皆さんの、スタッフ
参加をお待ちしております。

★今後の運営委員会予定

第4回運営委員会（会員の傍聴自由）

日 時：4月12日、午後7時～同9時

場 所：ラポールひらかた2階 集会室

よろしくお願いします

運営委員と 監事の紹介

副会長：堀田 修平（ほった しゅうへい）

製造業者は今まで市の規制下で操業を行ってきましたが、本会が設立されたことで初めて市の方針、要望及び市民の声が聞けることになりました。3者が意見を出し合うことにより、より良い環境整備が整うものと期待をします。

運営委員：森下 修造（もりした しゅうぞう）

我がまち枚方を環境保全都市とするためには、市民・事業者の方々とのパートナーシップが不可欠です。環境ネットワーク会議を、それぞれの長所をうまく引き出すことができる協働の場として成長させたいと思います。

運営委員：鍛冶谷 知宏（かじや ともひろ）



「故郷・枚方を住みよい街に」という熱い想いで参加しました。運営委員最年少 35 歳！ 会員のみなさんが気持ちよく活動できるよう若さと情熱で頑張ります。

運営委員：末岡 妙子（すえおか たえこ）

この会議にかかわり、このところ余暇活動は充実しまくりです。さまざまな方との出会いはよい勉強になり、ゆるゆると進む方法を考えるようになりました。（. . .）

運営委員：中村 正紀（なかむら まさのり）

生ごみはたい肥に、燃える物は風呂焚きに、灰は畑に、金物は回収業者にと、ごみ知らずの田舎で育った者です。50 余年後の物に溢れた今の生活は想像すらできませんでした。ごみになる物を減らしましょう。

運営委員：山本 光夫（やまもと みつお）



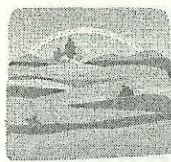
大阪府地球温暖化防止活動推進員、QMS 主任審査員、EMS 暫定審査員。自然環境（里山保全）に関心があり、フィールドの確保を目指しています。

会長：谷崎 利男（たにざき としお）



ひらかた環境ネットワーク会議の発足にあたり、会長を仰せつかった谷崎です。より多くの方々が参加され、実りある活動が行われることを期待しています。

副会長：丸井 晶子（まるい あきこ）



ひらかたに生まれ育ってウン 10 年。私の故郷枚方が、人生の終りのその時に「あ～あ、ホンマにええとこやったなー」って言えたらいいなーって頑張っています。

運営委員：石川 聡子（いしかわ さとこ）

環境教育に関わって 15 年、やっと自分の暮らす地域にねざした活動を始めることになりました。これまではまるで職場と自宅間の伝書鳩でしたので、3 番目の自分に出会えるのが楽しみです。

運営委員：鎌田 徹（かまだ とおる）

公共交通部会を担当します。枚方で環境に優しい快適な交通システムの構築をめざしましょう。所属団体：NPO 法人地域デザイン研究会、枚方 LRT 推進会 勤務先：ピーシー橋梁(株)

運営委員：田中 隆夫（たなか たかお）

廃棄物処理は、事業者にとっても最重要の課題です。製品を原材料の段階から吟味し、4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）可能なものを心がけています。

運営委員：新島 健士（にいじま けんじ）

京阪電鉄不動産(株)に勤務する、鉄道路木技術者です。枚方市駅の高架工事や寝屋川市の駅前広場を改造したりと、鉄道側からまちづくりに参加しましたが、これからは市民として、まちづくり部会で活動したいと考えています。

監事：稲田 増光（いなだ ますみつ）

財政学と会計学が専門です。市民と行政をつなぐオンブズマンを組織した後、情報公開の修士論文を書きました。現在は、法政策論と公共経済の勉強中です。よろず、相談にのります。

イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーに掲載しているイベントやスタッフ募集の申し込みは事務局（枚方市役所環境総務課内）までご連絡ください。
TEL 072・841・1221代

学習会のご案内

環境教育サポート部会主催

地域で環境について学ぶしくみとはどのようなものか

西宮市では、全小学生対象の環境教育のしくみができて6年が経ちました。そのしくみを運営しているNPOから講師をお招きして、しくみやしかげがどのようになっているのかお聞きし、枚方の実状にあったしくみ作りに向けて参考にします。

日時：4月17日（土）午後2時～同4時
会場：ラポールひらかた3階 研修室2
講師：長手 聖美氏

（NPO 子ども環境活動支援協会（LEAF））

資料代：500円

参加対象：会員及び非会員

スタッフ&お助けマン募集

★運営スタッフ募集

- ・会報誌の作成に興味がある（作り方を勉強したい）
 - ・ホームページの作成に興味がある
 - ・イラストを書いてみたい
 - ・漠然としたイメージを図にすることができる
 - ・ファイルメーカーなどデータベースソフトが使える
- 以上の項目にひとつでも当てはまるボランティアの方を募集しています。

★いざという時のお助けマン登録者募集

ホームページ管理者やハイキングマスター、パソコン指導者、河川の生物観察・鳥獣観察などをなさっておられる方、枚方の歴史語り部など、ボランティア登録していただける方を募集しています。

★ごみ・エネルギー部会スタッフ募集

部会ミーティング時の書記、部会員への連絡・資料送付、部会内資料作成・整理、会議室予約などの事務的作業をしていただけるボランティアの方を募集しています。

※各部会活動日程などは、当会議ホームページの“今後の予定”ページに掲載しています。ご覧いただけない場合は、事務局までお問い合わせください。

セミナーのご案内

公共交通部会主催「枚方の交通システムについて考える」

枚方の交通事情や環境と交通のかかわり等について、NPO法人地域デザイン研究会理事長の平峯悠氏を招いて、話題提供とディスカッションを行います。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：4月26日（月）午後7時～同9時
場所：ラポールひらかた3階 研修室2
内容：枚方の交通システムについて考える
（人々の生活・環境と交通のかかわり、徒歩、自転車、マイカー、バス、路面電車、鉄道の役割分担と連携など）

講師：平峯 悠氏
（NPO法人地域デザイン研究会理事長）

参加対象：ひらかた環境ネットワーク会議会員

★講師プロフィール

平峯 悠

1938年（昭和13）京都生まれ。64年、京都大学

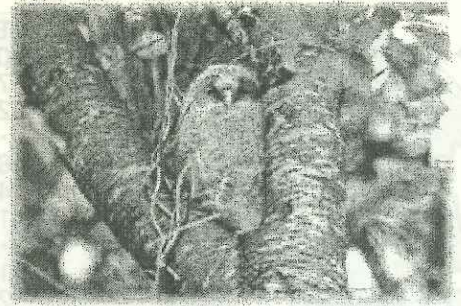
大学院修了、大阪府に入庁。土木部で都市計画に従事し、土木部総合計画課長、土木部長を歴任。阪神高速道路公団理事、大阪高速鉄道（株）社長を経て、現在鹿島建設（株）顧問。日本都市計画学会副会長、土木学会本部理事などを歴任。1989年泰山塾（現在の地域デザイン研究会）創立以来代表をとめる。2000年10月NPO法人地域デザイン研究会設立、理事長に就任。



団体紹介 コーナー

尊延寺の自然を守る会

1993年7月設立、スタッフ7人、
会員38人、代表：稲森郁子



フクロウや里山の状況を行政に提言

1992年、枚方市東部の尊延寺地区において、フクロウが確認されたことをきっかけに会が発足し、それ以来フクロウの巣箱の設置とそのメンテナンスを行っています。

また、フクロウの生息状況について調査を続け、その保護や生息環境の保全について、行政（大阪府及び枚方市）に提言を行っています。さらに、尊延寺地区に残る里山の自然の調査、データ収集を行い、これに基づいて行政への提言や要望、情報提供を行っています。同時に、これらの情報を市民にも発信することによって、枚方の里山の現状や重要性

を広く知らせています。

日常的には、主に毎月第3日曜日に、竹炭焼きや里山整備など実際の作業を通じて、市民に楽しみながら里山の素晴らしさを知ってもらおう活動を続けています。

★環境を考え、守るために多くの方々が活動されています。このコーナーでは、団体や個人のユニークな活動を紹介します。

みなさんの活動の情報を、事務局までお寄せ下さい。

会報誌の名称を募集しています

この会報誌に名前を付けてください

各部会の活動状況やイベント情報など「ひらかた環境ネットワーク会議」の情報を年4回発信するこの会報誌にふさわしい名称を付けてください。

応募は事務局までお願いします。締め切りは5月末日まで。採用された方には記念品を進呈します。

会員を募集しています

一緒に枚方を住みよい街にしませんか

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民（個人、団体、サークル、NPO）、事業者から広く募集しています。入会を希望される方は事務局へ、電話、FAX、Eメールでお申し込みください。

編集後記

ひらかた環境ネットワーク会議が、ついにスタートしました。「枚方の環境を良くしたい」という同じ思いを持った人たちが、150人以上も集まりました。ネットワーク会議は「市民・事業者・行政が協働し、環境保全都市を実現すること」を目標に掲げています。これを達成する手段、手法はいろいろあり、みなさん意見の分かれるところです。最初は多少（大幅な？）意見の違いがあり、混乱することもあるでしょう。しかしそれらを乗り越えて、「枚方の環境を良くする」ために行動を起こすことがネットワーク会議の存在意義だと思います。必ずできます。みんな目指すところは同じなのですから。（鍛冶谷 記）

ひらかた環境ネットワーク会議会報 創刊号

平成16年4月1日発行（年4回発行）

発行：ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-8666

大阪府枚方市大垣内町2丁目1-20

枚方市役所環境総務課内

電話 072-841-1221（内線966）

FAX 072-841-3039

Eメール network@city.hirakata.osaka.jp

http://www.city.hirakata.osaka.jp/freepage/gyousei/kankyou/net/top/

発行責任者：谷崎 利男

編集責任者：鍛冶谷 知宏